

2. 企画部門

2.1 企画委員会（2015～2024）

2015 年度以降の歴代委員長および任期は表 2.1.1 のとおりである。

表 2.1.1 企画委員会の歴代委員長（2015～2024）

任期（年度）	委員長
～2015	小林 潔司（京都大学）
2016～2017	岡安 章夫（東京海洋大学）
2018～2019	小澤 一雅（東京大学）
2020～2021	屋井 鉄雄（東京工業大学）
2022～2023	岸 利治（東京大学）
2024～現在	吉谷 純一（信州大学）

2014 年度から 2024 年度までの 10 年間の企画委員会の活動は、2014 年～2019 年は JSCE2015 の運用と JSCE2020 の策定、2020 年～2024 年は JSCE2020 の運用と JSCE2025（仮）の策定が主となっている。

（1）JSCE2015 から JSCE2025（仮称）へ

「JSCE2015」は、2014 年 11 月に土木学会設立 100 周年を機に制定された「社会と土木の 100 年ビジョン」に基づき、①土木学会が 2011 年に公益を目的として事業を行う公益社団法人となったこと、②2014 年に 100 周年を迎え、社会の発展とともに日本におけるインフラの役割はこれまでの 100 年から変化していくことが想像されること、③東日本大震災などの災害やインフラの機能劣化などの問題に対しレジリエントでサステナブルな社会の構築が求められていることといった、総合学問である土木工学を強く意識して各種の問題に学会として向き合い、直近に解決すべき問題や将来にわたって継続的に検討すべき問題を取りまとめたものである。その際、土木のフレームを定義し、人間が経済的な充足感だけでなく幸福を感じられるような社会を、ハードとソフトのインフラでどのように達成するかについて、体系的にまとめている。

続く「JSCE2020」も、「社会と土木の 100 年ビジョン」の基本的考え方を踏襲し、20～30 年後に達成すべき目標として「中期重点目標」を定め、この達成に向けて、この 5 年間に重点的に取り組む事項を社会や会員に対して具体的に示すことを企図して策定した。まず中期重点目標に関しては、JSCE2015 の中期重点目標の精査及び見直しを行い、社会と土木の 100 年ビジョンとの整合性、現時点までの取組状況と達成状況、現在及び将来の社会情勢等を考慮して案を作成し、パブリックコメントを経て最終案（目標 1：安全・安心、目標 2：国際、目標 3：コミュニケーション、目標 4：人材）を確定した。さらに、その JSCE2020 中期重点目標を達成するために、2020～2024 年の 5 年間に学会全体として重点的に取り組む四つのプロジェクト（①土木を軸に国難災害に立ち向かう、②メンテナンスの担い手を育て、インフラを守る、③土木映像の蓄積と活用、④土木 D&I 2.0 へむけた活動の場とツールをつくる）を選定し、学会内外に広く周知したうえで各プロジェクトを推進してきた。周知が進むよう、日本の国土の自

然やグリーン化の進展もイメージしたシンボルマークやデザインの資料が作成された。

現在検討中の JSCE2025（仮称）では、コロナ禍を経験し、さらに、生成 AI・対話型 AI が急速に進歩する時代における「土木学会」の意義や価値を再考する景気とすべく、次の四半世紀を見据えて学会のあり方を捉え直すために、(1)学会活動の背景としての哲学的な議論、(2)土木学会とは何かの再認識、(3)過去の議論や発信をレビューした上で、直近5か年で特に何に取り組むかの検討、(4)学会全体（本部・支部、部門・委員会、事務局）の体制・関係の再構築の検討などに取り組んでいる。そのために、企画委員会傘下に現状分析 WG（ビジョン・ミッションを踏まえ過去の議論と現状からやり残していることを整理する）と将来展望 WG（ビジョン・ミッションを踏まえさまざまな将来予想から学会のやるべきことを提示する）を並立し、それぞれ主に Forecasting 的アプローチと Back casting 的アプローチから、さまざまな議論を進めているところである。

(2) JSCE20XX 関係以外の活動

1) 見える化データの公表

JSCE2010 策定時に公表が開始された「見える化データ」は、土木学会の現状をさまざまなデータで把握し、時系列変化を捉え、今後の方針の議論に反映されている。土木学会が開かれた学会として、より良い方向へと発展し続けるため、学会員のみならず広く社会に公開している。コロナ禍による中断はあるものの、2014 年以降も毎年公表している。

2) 数字で見る土木学会

上記の見える化データの情報を抜粋してよりわかりやすくコンパクトにまとめた「数字で見る土木学会」を 2017 年、2019 年、2020 年に作成・公表した。

3) トークサロン

トークサロンは、時々の社会で注目されている土木工学に関連する話題について、講師をお招きしお話しいただき、参加者の方々との懇談・討議をしていただく会として創設されたものである。企画委員会関連では、下記の平にあるようなトークサロンを開催した。東日本大震災からの復興をめぐり、土木事業の考え方の社会への説明、被災地との対話、制度論について、多分野を交えて多様な価値観の議論がなされた。また特別篇では、支部催事のエクスカッション参加者とのオンライン活用による地域を超えた対話が行われ、後の遠隔技術活用のハイブリッド催事の試行ともなった。

表 2.1.2

回	開催日	話題（講演タイトル）	講演者	講演者所属
39-1	2014/11/10	東日本大震災復興フォローアップセミナー 生活・生産の場としての漁村再生	植田今日子	東北学院大学
			千葉 一	東北学院大学
			富田 宏	漁村計画
			山内 繁樹	エコニクス
			長野 章	全日本漁港建設協会
39-2	2014/12/15	東日本大震災復興フォローアップセミナー 津波防災対策のフロンティア	清野 聡子	九州大学
			富田 孝史	港湾空港技術研究所
			有川 太郎	港湾空港技術研究所
			高橋 智幸	関西大学
			佐藤 慎司	東京大学

39-3	2015/1/26	東日本大震災復興フォローアップセミナー 海岸地域の総合的利用管理	岡田 智秀 清野 聡子 佐々木晶二 有川 太郎	日本大学 九州大学 民間都市開発推進機構 港湾空港技術研究所
40	2015/2/4	インフラの呪縛ー公共事業はなぜ迷走する のか	山岡淳一郎	
41	2015/10/22	防災とレジリエンス再考	河田 恵昭	関西大学社会安全学部
42	2017/5/15	自然共生社会にむけた国土の再構築の課題 と展望 ー技術と制度の狭間でー	佐々木晶二	国土交通省 国土交通政策研究 所
特別	2018/11/2	トークサロン特別編 「災害を乗り越えていく地域のつながり」	東峰テレビ（ディレクター岸本晃）：「知山知 水」 北海道：鶴川町 東京：土木学会企画委員会（2020年からの5 カ年計画形成における災害を克服する地域づ くり）	

(3) 小委員会

1) 活動中の小委員会

① 学生小委員会（2022～）

土木学会において初の学生主体の小委員会である本小委員会は、先輩方が築きあげてきた知見やネットワークを活かし、土木や社会に関わる若者に有益な情報を提供することを目的にしたユニークな経験やアイデアを持った方々へのインタビュー企画や各地のインフラ施設視察、学生交流イベントの実施など、学生自身で協働し、共に学びあう場を作ることを目指して活動をしている。

表 2.1.3

任期（年度）	委員長
2022～2023	水谷昂太郎（東京都市大学）
2024～	川端 浩平（東洋大学）

② 「日本インフラの体力診断」小委員会

日本インフラの実力診断は、日本がこれまで蓄積してきたインフラについて、1)体力、2)能力、3)健康状態の3つの観点で診断を行い、日本インフラの実力を評価して、その結果を世に問うことを通じて、①「インフラ概成論」からの脱却、②日本の技術への「過信」からの脱却、③国民や政治家の正確な理解、④インフラや国土に関する(賛否の)議論を促進、⑤国土やインフラに関わる政策へ反映を目指している。

本小委員会は、3つの観点のうち「体力」に関して12分野（高速道路・治水・コンテナ港湾・地域公共交通・都市鉄道・下水道・公園緑地・水インフラ・新幹線・街路空間・バルク港湾・空港）のインフラについて評価を行い、4冊のレポートを刊行した。

（能力診断は土木学会誌上で、健康診断はインフラメンテナンス総合委員会で実施）

表 2.1.4

任期（年度）	委員長
2020～	家田 仁（政策研究大学院大学）

③「Beyond コロナの地方創生と土木のビッグピクチャー」フォローアップ小委員会(2023～)

土木学会では、2021 年会長特別委員会の活動の成果として、「Beyond コロナの地方創生と土木のビッグピクチャー」（BP 提言）を取りまとめ、公表している。BP 提言で示した「ありたい未来の姿」の実現には、継続的な議論を積み重ね、提言内容の更なる充実・具体化を図ることが肝要である。本小委員会は、BP 提言の内容を土木関係者のみならず各界の有識者及び市民に広く周知し、意見を聴取するとともに、これらの意見分析や国内外のインフラ整備に関する動向を把握したうえでの議論を続けることを企図して設置され、活動を行っている。

2023 年にはノルウェーに調査団を派遣して海外動向に関する調査を実施した。

表 2.1.5

任期（年度）	委員長
2022～	屋井 鉄雄（東京工業大学（現 東京科学大学））

2) 活動を終えた小委員会

①若手パワーアップ小委員会（2014～2023）

本小委員会は、土木の在り方を若手の視点で考察することを通じて、若手の能力向上を図るとともに、活動の PR を行い、もって土木の発展に貢献することを企図して設置されたものである。これまでに、相互現場見学会の実施、委員会内勉強会の企画・運営、各種ウェビナーの企画・運営、SNS の活用による発信、ポケドボカードゲームの普及啓発および発展等の活動を行ってきた。2023 年 12 月からは土木広報センターの若手パワーアップグループとして活動を継続している。

表 2.1.6

任期（年度）	委員長
2014～2017	橋本 麻未（鹿島建設）
2018～2019	片山 範孝（成田国際空港）
2019～2020	前田 裕一（清水建設）
2021～2022	濱 慶子（熊谷組）
2023	三木 拓也（日本工営）

参考資料

企画委員会ホームページ <http://committees.jsce.or.jp/kikaku/>

2.2 論説委員会（2014～2024）

論説委員会は、「JSCE2005－土木学会の改革策」の基本的行動指針である“社会への貢献と連携機能の充実”を具体的に推進するため、社会に対する技術者の責務として、土木工学、土木技術者、国際貢献、社会資本整備事情および建設産業のあり方や関連する諸問題解決の基本的方向性、さらに土木界の倫理・社会規範に関わる重大な問題等に対する見解を学会内外に明確に表明することを目的に、2007年6月に設置され、2014年6月までに164編の論説を公開した。

2014年度以降も継続した発信活動を行っており、2016年度にはより自由な論調、テーマで執筆できるよう、発表記事について「論説」の名称から「論説・オピニオン」と変更した。2014年7月から2024年12月までに247編、スマートフォンの普及による閲覧スタイルの変化や100年ビジョンで宣言された「あらゆる境界をひらく」ことへの対応のため、従来までの論説委員会ホームページ・学会誌での公開に加え、メディアプラットフォーム「note」においても論説・オピニオンの公開を開始した。その際、より広く一般にも拡散し、かつ内容が理解されるよう、文字だけではなく、画像や動画、関係リンクなどの情報を付加したうえで公開を行っている。論説／論説・オピニオンは従前から国際センターにより海外向けに委員会ホームページへのリンクを発信していたが、noteにおいて公開したことにより、ブラウザの機能で翻訳することが可能となったため、日本語が理解できない方も内容を理解しやすくなっている。さらにはAI音声によるポッドキャストへの公開など、伝える手段の多様化にも取り組んでいる。

2022年度には、論説委員会から発信する論説・オピニオンが土木分野ならびに学会の事業活動や調査研究活動の多様性を反映しうよう、論説委員会の委員構成・委員選出方法を土木事業分野や学会の組織構成を踏まえて選定する方式に改め、2023年度から適用している。

また2024年1月公開（土木学会誌2024年3月号掲載）の論説・オピニオンで掲載200回を迎えたことから、それを記念して、土木学会誌2024年3月号に小特集を掲載した。小特集では、それまでに公開された論説／論説・オピニオンの一覧を掲載するとともに、過去に公開された論説／論説・オピニオンで、数年先、10年先の土木業界や社会の姿を先取りしていた記事について、執筆者に現在の視点で振り返っていただいた記事を掲載した。

この10年では、依頼論説として若手会員や学生会員にも執筆いただくなど、世代の多様性にも配慮した取り組みを行っている。今後はさらに異分野、多国籍、幅広い年齢層などの多様な属性を取り入れるとともに、論説・オピニオンが土木技術者の社会に対する責務として技術者が自らの言葉で見識や見解を発信する場となるよう、一般投稿論説に関する投稿規程を整備したうえで、2024年度中に公募を開始することとしている。

2014年以降の論説委員会の歴代委員長および任期は表2.2.1のとおりである。

表 2.2.1 論説委員会委員会の歴代委員長（2014～2024）

任期（年度）	委員長
2014～2015	山本 卓朗（シビル NPO 連携プラットフォーム）
2016～2017	藤野 陽三（横浜国立大学）
2018～2019	石田 東生（筑波大学）
2020～2021	山田 正（中央大学）
2022～2023	古米 弘明（中央大学）
2024～	藤原 章正（広島大学）

なお論説委員会が審議し公開した2014年7月以降の論説／論説・オピニオンのタイトルおよび執筆者については表2.2.2に記載のとおりである。

論説委員会ホームページ：<https://committees.jsce.or.jp/editorial/>

土木学会公式note 論説・オピニオン：<https://note.com/jsce/m/mf59baeb4d716>

ポッドキャスト：<https://stand.fm/channels/649ab547b352effb9d50aa49>

表2.2.2 論説／論説・オピニオンの執筆者と題名の一覧（2014/7～2024/8）

回・公開月		種類	題 名	執筆者
第86回(1)	2014年7月	委員論説	【シリーズ】「50年後の国土への戦略」 将来に向けての学会活動のあり方ーひとつの提案ー	藤野 陽三
第86回(2)	2014年7月	委員論説	「あるべき論」と「実践活動」のバランスを	山本 卓朗
第87回(1)	2014年8月	委員論説	【シリーズ】「50年後の国土への戦略」 人員削減などの発注者体制の変化に応じた制度の変革を 発注者は意志を示せ	田崎 忠行
第87回(2)	2014年8月	委員論説	相思相愛の地方空港間連携	田村 亨
第88回(1)	2014年9月	委員論説	【シリーズ】「50年後の国土への戦略」 地域活性化に向けて	野崎 秀則
第88回(2)	2014年9月	委員論説	自治体土木技術者の奮起を	奥田 剛章
第89回(1)	2014年10月	委員論説	【シリーズ】「50年後の国土への戦略」 治水計画のイノベーション	村田 和夫
第89回(2)	2014年10月	委員論説	「当たり前」を疑うことは問題解決の第一歩	岡村 美好
第90回(1)	2014年11月	委員論説	【シリーズ】「50年後の国土への戦略」 グローバル化時代を担う技術者育成に求められる大学教育	日野 伸一
第90回(2)	2014年11月	委員論説	現場第一主義の技術者を如何に育てるか	國生 剛治
第91回(1)	2014年12月	委員論説	【シリーズ】「50年後の国土への戦略」 地域経営による場所の確立	竹内 直文
第91回(2)	2014年12月	委員論説	インフラ研究所技術者は問題解決まで主導を	濃添 元宏
第92回(1)	2015年1月	委員論説	【シリーズ】「50年後の国土への戦略」 駅のリノベーションに立体鉄道制度を	山崎 隆司
第92回(2)	2015年1月	委員論説	官と民の関係はどう変わるのか？	望月 常好
第93回(1)	2015年2月	委員論説	【シリーズ】「50年後の国土への戦略」 待ったなし！地籍調査	清水 英範
第93回(2)	2015年2月	委員論説	海を守る ー我が国の海洋管理ー	藤田 武彦
第94回(1)	2015年3月	委員論説	【シリーズ】「50年後の国土への戦略」 地方の将来を見通した道路ネットワークのあり方	宮田 年耕
第94回(2)	2015年3月	委員論説	NPOの活動には経営感覚が必要だ	木村 亮
第95回(1)	2015年4月	委員論説	【シリーズ】「50年後の国土への戦略」 人材育成と大学教育私論	二羽淳一郎
第95回(2)	2015年4月	依頼論説	「饒舌なサムライであれ」～若き日本の土木技術者たちへ～	松岡 孝哉
第96回(1)	2015年5月	委員論説	【シリーズ】「50年後の国土への戦略」 プロダクトの時代からプロセスの時代への制度設計	田村 亨
第96回(2)	2015年5月	依頼論説	日本再構築、四つの階層で ー成熟社会でとる針路ー	大西 博文
第97回(1)	2015年6月	委員論説	港湾と都市ー今後の協働のあり方	奥田 剛章
第97回(2)	2015年6月	依頼論説	I C T技術の将来の可能性と日本の問題	坂根 正弘
第98回(1)	2015年7月	委員論説	ダイバーシティ&インクルージョンは持続可能な社会の礎である	岡村 美好

第98回(2)	2015年7月	依頼論説	これからの市民交流のあり方を考える	樋口 明彦
第99回(1)	2015年8月	委員論説	“担い手3法”を理解して建設業の広報活動強化を	山本 卓朗
第99回(2)	2015年8月	委員論説	公共事業の担い手確保と育成について	村田 和夫
第100回(1)	2015年9月	委員論説	大学入試制度の改革と土木工学教育について	日野 伸一
第100回(2)	2015年9月	委員論説	建設業を取り巻く環境について現場目線で考えたこと	柿谷 達雄
第101回(1)	2015年10月	委員論説	災害リスク評価の徹底と社会的共有による防災・減災の強化 ー水害から見るー	関 克己
第101回(2)	2015年10月	委員論説	学問の世界における社会実装の価値	福士 謙介
第102回(1)	2015年11月	委員論説	公共インフラへのコンセッション方式導入における課題と土木分野の役割	大川 尚哉
第102回(2)	2015年11月	委員論説	このままでよいのか、中央官庁街―二人の外国人建築家に思いを馳せて	清水 英範
第103回(1)	2015年12月	委員論説	コンサルタント技術者の育成について思うこと	松井 弘
第103回(2)	2015年12月	委員論説	交通インフラの海外展開	岡田 光彦
第104回(1)	2016年1月	委員論説	土木・建築の境界領域の再考	山崎 隆司
第104回(2)	2016年1月	委員論説	ネパール・ゴルカ地震後の混乱に想うこと	小長井一男
第105回(1)	2016年2月	委員論説	地方都市中心部の再生にむけて	望月 明彦
第105回(2)	2016年2月	委員論説	土木界の広報について	依田 照彦
第106回(1)	2016年3月	委員論説	現場の魅力はここにあり	柿谷 達雄
第106回(2)	2016年3月	委員論説	次世代育成は土木技術者の仕事	須田久美子
第107回(1)	2016年4月	委員論説	災害応急対策における意思決定機能の強化	関 克己
第107回(2)	2016年4月	委員論説	「2℃未満」目標と建設業	松岡 譲
第108回(1)	2016年5月	委員論説	点検の効率化と信頼性向上に向けた技術開発について	芝村 善治
第108回(2)	2016年5月	委員論説	日本経済の活性化と広域交通社会基盤の再整備について	横田 耕治
第109回(1)	2016年6月	委員論説	カリブ諸島と気候変動	岡田 光彦
第109回(2)	2016年6月	依頼論説	海の生物多様性の保全とグリーン・インフラ	清野 聡子
第110回(1)	2016年7月	委員論説	土木の学際性、国際性再考	小長井一男
第110回(2)	2016年7月	委員論説	多様な学術連携による防災・減災への期待	塚田 幸広
第111回(1)	2016年8月	委員論説	まわり道のキャリアも支える土木学会に	山田 菊子
第111回(2)	2016年8月	委員論説	建設コンサルタント業務の効率化について	松井 弘
第112回(1)	2016年9月	委員論説	高齢者が健康的に生活できる東京都心部の街づくり	望月 明彦
第112回(2)	2016年9月	委員論説	シリーズ企画【若者へのメッセージ】エンジニアリングデザインのすすめ	依田 照彦
第113回(1)	2016年10月	委員論説	ダッカ・テロ事件犠牲者へのレクイエム	内村 好
第113回(2)	2016年10月	委員論説	社会インフラ関連事業における公益性と事業性との両立について	大川 尚哉
第114回(1)	2016年11月	委員論説	女性の坑内労働規制の緩和による更なる女性活躍推進	須田久美子
第114回(2)	2016年11月	委員論説	高速道路の耐震補強の推進について（熊本地震を受けて）	芝村 善治

第1章 各部門の記録

第115回(1)	2016年12月	依頼論説	2030年に向けたレジリエントな社会づくり	小池 俊雄
第115回(2)	2016年12月	委員論説	社会資本整備に理念と共感を	横田 耕治
第116回(1)	2017年1月	委員論説	廣井勇に学ぶ「憧れ」を持つことの大事さ	藤野 陽三
第116回(2)	2017年1月	依頼論説	豊かさを目標とするインフラ整備	馬奈木俊介
第117回(1)	2017年2月	委員論説	土木と建築との統合	上田 多門
第117回(2)	2017年2月	委員論説	社会とともに歩む土木学会	梶木 洋子
第118回(1)	2017年3月	委員論説	「土木」と「土」	小松登志子
第118回(2)	2017年3月	委員論説	神戸開港150年をむかえて	豊田 巖
第119回(1)	2017年4月	委員論説	日本人博士人材が不足しています	舘石 和雄
第119回(2)	2017年4月	依頼論説	「地」を大切に「克災」し「減災ルネサンス」で未来を拓く	福和 伸夫
第120回(1)	2017年5月	委員論説	持続可能な開発目標（SDGs）の意味	福士 謙介
第120回(2)	2017年5月	委員論説	市町村の長寿命化修繕計画策定に関わって	山口 栄輝
第121回(1)	2017年6月	委員論説	これからを担う土木技術者は頼もしい	中村 光
第121回(2)	2017年6月	依頼論説	女性土木技術者のキャリア形成に共感し、応援しよう	岩熊 まき
第122回(1)	2017年7月	委員論説	【若者へのメッセージ】技術者資格取得の“ススメ”	内村 好
第122回(2)	2017年7月	依頼論説	将来の変化に対応する治水適応策の早期実施・展開を	湧川 勝己
第123回(1)	2017年8月	委員論説	インフラの維持管理更新ー将来世代への責任を果たそうー	藤野 陽三
第123回(2)	2017年8月	委員論説	日本建設技術の世界標準化	上田 多門
第124回(1)	2017年9月	委員論説	「土木の魅力」をもっと伝えよう！～担い手確保に本気の取り組みを～	梶木 洋子
第124回(2)	2017年9月	委員論説	「神戸港将来構想」について	豊田 巖
第125回(1)	2017年10月	委員論説	持続的なインフラの維持管理にむけて	舘石 和雄
第125回(2)	2017年10月	委員論説	第8回アジア土木技術国際会議（CECAR8）に向けて	茅野 正恭
第126回(1)	2017年11月	委員論説	学会名称を想う	山口 栄輝
第126回(2)	2017年11月	依頼論説	建築と土木をつなぐ愉しみー学連携の意義	伊藤 毅
第127回(1)	2017年12月	委員論説	今世デンマーク女子学生事情～オルボー大学土木工学科	小松登志子
第127回(2)	2017年12月	委員論説	社会資本整備の意義ー少子高齢化社会に再び考えるー	清水喜代志
第128回(1)	2018年1月	委員論説	社会資本維持管理はもはや国全体の課題～社会資本アセットマネジメントのすすめ～	赤木 寛一
第128回(2)	2018年1月	委員論説	多様性を力にする土木界へ	飯島 玲子
第129回(1)	2018年2月	委員論説	災害リスクと超高齢社会の防災	寶 馨
第129回(2)	2018年2月	委員論説	マニュアル万能主義を憂える	長尾 哲
第130回(1)	2018年3月	委員論説	災害の示唆に気づく感性を磨こう	常田 賢一
第130回(2)	2018年3月	依頼論説	国際建設契約の難しさーFIDIC約款の改訂と日本の紛争解決文化ー	小泉 淑子
第131回(1)	2018年4月	委員論説	地方自治体の土木系職員の技術力ー合意形成力ー	難波 喬司

第131回(2)	2018年4月	委員論説	若者に防災を通じて土木をアピール	藤山 秀章
第132回(1)	2018年5月	委員論説	完全自動運転と事業評価手法	三浦 真紀
第132回(2)	2018年5月	委員論説	建設業における技術開発部門の生産性向上について	三島 徹也
第133回(1)	2018年6月	委員論説	「今日はこれで帰ります」～土木界から働き方改革を進めよう～	渡辺 弘子
第133回(2)	2018年6月	委員論説	科学技術ジャーナリズムと土木	赤木 寛一
第134回(1)	2018年7月	委員論説	無意識を意識する ～アンコンシャス・バイアスへの気付き～	飯島 玲子
第134回(2)	2018年7月	依頼論説	瀬戸の島々と神戸	加藤 琢二
第135回(1)	2018年8月	委員論説	先端技術を取り入れた生産性向上で、建設業のさらなる魅力向上へ	茅野 正恭
第135回(2)	2018年8月	委員論説	浪江町の原子力災害、ふるさととしての復興	清水喜代志
第136回(1)	2018年9月	委員論説	超過洪水への備えと河川整備	寶 馨
第136回(2)	2018年9月	委員論説	デジタル化情報社会で本質を見誤らない	常田 賢一
第137回(1)	2018年10月	委員論説	土砂災害について考える	長尾 哲
第137回(2)	2018年10月	委員論説	景観づくりにおける水平的協働	難波 喬司
第138回(1)	2018年11月	委員論説	中小建設業の重要性をもっと語ろう	藤山 秀章
第138回(2)	2018年11月	委員論説	長期保証制度と技術力評価	三浦 真紀
第139回(1)	2018年12月	委員論説	有料道路コンセッションにおけるリビングラボ ～愛知アクセラレートフィールド～	三島 徹也
第139回(2)	2018年12月	依頼論説	中国広東・香港・マカオ大湾区戦略及び日中インフラ建設領域における提携	戴 建国
第140回(1)	2019年1月	委員論説	未来をつくるもの ～土木×2+人～	渡辺 弘子
第140回(2)	2019年1月	委員論説	土木現場の映像を撮り、継承しよう	塚田 幸広
第141回(1)	2019年2月	委員論説	観光地域づくりと社会資本政策	石田 東生
第141回(2)	2019年2月	委員論説	防災学習と土木	浅沼加代子
第142回(1)	2019年3月	委員論説	無限の可能性のある女性研究者のたまごの背中を押してください	池本 良子
第142回(2)	2019年3月	委員論説	災害現場におけるヒトとモノの輸送の意義	小野 憲司
第143回(1)	2019年4月	委員論説	まずは利用者の目線で捉え、そして技術者目線でさらに腕を磨こう！～構造物のさらなる安全確保に向けて～	鎌田 敏郎
第143回(2)	2019年4月	委員論説	建設コンサルタントの働き方改革	中村 哲己
第144回(1)	2019年5月	委員論説	コンクリート構造物の建設に関わる生産性向上に思うこと	前川 宏一
第144回(2)	2019年5月	委員論説	人間が暮らす都市と土木工学	青山 彰久
第145回(1)	2019年6月	委員論説	提言「22世紀の国づくり」から考える22世紀に誇る土木	風間 聡
第145回(2)	2019年6月	委員論説	土木技術者の専門分野の多様性 ―文系人材の活用―	田中 真弓
第146回	2019年7月	依頼論説	脱炭素・気候変動適応社会を目指して	原澤 英夫
第147回(1)	2019年8月	依頼論説	水害のソフト対策における情報の縮約とユーザビリティの向上	松田 曜子
第147回(2)	2019年8月	依頼論説	色彩から考える土木景観	藤本 英子
第148回(1)	2019年9月	委員論説	土木工学と大学入試	小宮 一仁

第1章 各部門の記録

第148回(2)	2019年9月	委員論説	「公園は誰のもの？」パークマネジメントからのまちづくり	岡野 郊子
第149回(1)	2019年10月	委員論説	これからの「働き方」を決めるのは君たちだ！	佐藤 健人
第149回(2)	2019年10月	委員論説	新技術が実装されるメカニズムが面白くて深い	藤田 光一
第150回(1)	2019年11月	委員論説	留学生受け入れの大競争時代の現状とその対応策	大津 宏康
第150回(2)	2019年11月	委員論説	改めて問いたい、「大学での国際化とかグローバル化とか」	山田 均
第151回(1)	2019年12月	委員論説	土木技術は夢を与えているか	高橋 知道
第151回(2)	2019年12月	委員論説	人口減少時代の経済発展と社会資本整備に必要な視点	丸山 隆英
第152回(1)	2020年1月	委員論説	Society5.0, スマートシティと都市計画	石田 東生
第152回(2)	2020年1月	委員論説	ICT活用におけるヒトと機械の協働 ?港湾のデジタル化, スマート化を事例として-	小野 憲司
第153回(1)	2020年2月	委員論説	土木界のブランディング	浅沼加代子
第153回(2)	2020年2月	委員論説	若者たちの力で再生可能エネルギーの利用推進を	池本 良子
第154回(1)	2020年3月	委員論説	道路とエネルギーインフラの融合	三浦 真紀
第154回(2)	2020年3月	委員論説	医療分野の治験制度に学ぶ！ ～構造物点検への新技術導入に向けて～	鎌田 敏郎
第155回(1)	2020年4月	委員論説	情報化時代の道場と稽古を考える	前川 宏一
第155回(2)	2020年4月	委員論説	地震発生時における建設コンサルタントのリスク管理と危機管理	中村 哲己
第156回	2020年5月	委員論説	コロナウイルス感染拡大下での雑感	戸塚奈津子
第157回(1)	2020年6月	委員論説	J R東日本の鉄道駅乗車人員から考える	浅見 郁樹
第157回(2)	2020年6月	委員論説	建設業においてインフラのデジタルトランスフォーメーション(DX)を実現するためには	手塚 広明
第158回(1)	2020年7月	委員論説	若者よ、イノベーションを起こせ	佐藤 健人
第158回(2)	2020年7月	委員論説	「新しい生活様式」を支え・導く、社会インフラの新たな活用に向けて	岡野 郊子
第159回(1)	2020年8月	委員論説	メンテナンスとロボット	小宮 一仁
第159回(2)	2020年8月	委員論説	流域治水に内包される「不利益配分問題」に土木の総合力を	藤田 光一
第160回(1)	2020年9月	委員論説	2040年-2050年のインフラ整備 -「塗り絵の世界」から「白地のキャンパスに絵を描く世界」へのパラダイムシフト	大津 宏康
第160回(2)	2020年9月	委員論説	超高齢化時代の社会資本の在り方	高橋 知道
第161回(1)	2020年10月	依頼論説	COVID-19と土木・建築—デジタルで代替されない空間をつくる—	牧 紀男
第161回(2)	2020年10月	委員論説	グローバルサプライチェーンの再構築を後押しする物流インフラの整備	丸山 隆英
第162回(1)	2020年11月	委員論説	公平な負担という理念と道路利用のDX	三浦 真紀
第162回(2)	2020年11月	委員論説	山岳トンネル工事における女性技能者活躍の可能性	阿部 友美
第163回(1)	2020年12月	委員論説	スーパーシティ実現のために土木技術者のあるべき姿	手塚 広明
第163回(2)	2020年12月	委員論説	文系的知識習得の勧め	戸塚奈津子
第164回(1)	2021年1月	委員論説	あらためて復旧と復興を考える	浅見 郁樹
第164回(2)	2021年1月	委員論説	東日本大震災と技術者～後世へ伝えていくことと土木の役割	島村亜紀子
第165回(1)	2021年2月	委員論説	わたしが考える土木工学の50年の歩み ～闇夜の河川の水位予報～	山田 正

第165回(2)	2021年2月	委員論説	Society5.0時代における建設コンサルタント技術者の役割	秋葉 努
第166回(1)	2021年3月	委員論説	塩素消毒百年と二人の医師のこと	浅見 真理
第166回(2)	2021年3月	委員論説	橋梁の設計について	梶木 洋子
第167回(1)	2021年4月	委員論説	都市沿岸域の恵みと持続性を高めよう	佐々木 淳
第167回(2)	2021年4月	委員論説	近未来の建設現場の実現に向けて	坂田 昇
第168回(1)	2021年5月	委員論説	危機の中のインフラ	羽藤 英二
第168回(2)	2021年5月	委員論説	先人に学ぶ ～大阪港150年史から～	徳平 隆之
第169回(1)	2021年6月	依頼論説	熊本地震から5年 臨機の対応は広範な経験知・学習知から	森田 康夫
第169回(2)	2021年6月	委員論説	学び直しのすすめ	渦岡 良介
第170回(1)	2021年7月	委員論説	リスク、安全率、そして予防的アプローチ	浅見 真理
第170回(2)	2021年7月	委員論説	危機にあるレディーミクストコンクリートを考える	坂田 昇
第171回(1)	2021年8月	委員論説	人口減少下における留学生教育と高度外国人材の育成	佐々木 淳
第171回(2)	2021年8月	委員論説	土木の魅力を伝えたい	梶木 洋子
第172回(1)	2021年9月	委員論説	究極の危機管理と流域治水	山田 正
第172回(2)	2021年9月	委員論説	着実なインフラ整備・大阪港夢洲の場合	徳平 隆之
第173回(1)	2021年10月	依頼論説	高速道路は道路の無料公開原則の対象か？	中田 勉
第173回(2)	2021年10月	委員論説	テレワーク環境におけるコンプライアンス・技術者倫理について	秋葉 努
第174回(1)	2021年11月	委員論説	モネたちの復興	羽藤 英二
第174回(2)	2021年11月	委員論説	現場第一線に携わる土木技術者としてのインフラDXに対する心構え	伊藤 正秀
第175回(1)	2021年12月	委員論説	2024年の建設業に期待すること	阿部 友美
第175回(2)	2021年12月	委員論説	「スマートシティ」について考えてみよう	中野 信悟
第176回(1)	2022年1月	委員論説	大学における教育のDX化	吉田 秀典
第176回(2)	2022年1月	委員論説	社会インフラ整備・運営における価値創造の加速	上田 康浩
第177回(1)	2022年2月	委員論説	D&Iを支える都市インフラとは？	太田 雅史
第177回(2)	2022年2月	委員論説	ダイバーシティ&インクルージョンについて ～働き方の動向を交えて～	田中 茂義
第178回(1)	2022年3月	委員論説	名古屋大学の国際環境人材育成プログラム	永石 雅史
第178回(2)	2022年3月	委員論説	社会の変化に応じて進化する港湾	水谷 誠
第179回(1)	2022年4月	委員論説	流域治水が求める新しいガバナンス	多々納裕一
第179回(2)	2022年4月	委員論説	流域治水とリスクの見える化	金尾 健司
第180回(1)	2022年5月	委員論説	地方圏における公共交通サービスの再構築を目指して	奥嶋 政嗣
第180回(2)	2022年5月	委員論説	土木現場におけるダイバーシティ&インクルージョン（D&I）の推進	阿部 友美
第181回(1)	2022年6月	委員論説	技術の伝承・人材の育成～先輩技術者としての責務	伊藤 正秀
第181回(2)	2022年6月	委員論説	建設コンサルタント業界における人材育成についての私見	中野 信悟

第1章 各部門の記録

第182回(1)	2022年7月	委員論説	理工系分野におけるダイバーシティ&インクルージョンについて	吉田 秀典
第182回(2)	2022年7月	委員論説	サステナブル・デジタル田園都市	太田 雅史
第183回(1)	2022年8月	委員論説	イノベーションと人材育成	田中 茂義
第183回(2)	2022年8月	委員論説	道路インフラの将来について	上田 康浩
第184回(1)	2022年9月	委員論説	土木のビッグピクチャーに寄せて	水谷 誠
第185回(1)	2022年10月	委員論説	健康影響予測評価についてーコンクリートと人と環境とー	浅見 真理
第185回(2)	2022年10月	委員論説	ダム操作の高度化	金尾 健司
第186回(1)	2022年11月	依頼論説	土は資源であることの情報発信に向けて	高野 昇
第186回(2)	2022年11月	委員論説	日本の輸出振興と港湾	池田 薫
第187回(1)	2022年12月	委員論説	健全な水循環・水環境に向けて	古米 弘明
第187回(2)	2022年12月	委員論説	越境しあうインフラガバナンスへ向けて	多々納裕一
第188回(1)	2023年1月	委員論説	建設材料におけるGXとDX	石田 哲也
第188回(2)	2023年1月	委員論説	2050年に向けて、長持ちする土木構造物を建設する意義を考える	岩城 一郎
第189回(1)	2023年2月	委員論説	環境に配慮した気候変動の新たな緩和策に向けて	中山 恵介
第189回(2)	2023年2月	委員論説	ITツールの活用が求められる建設コンサルタントの人材育成	上村 俊英
第190回(1)	2023年3月	依頼論説	若手へのラブレター	濱 慶子
第190回(2)	2023年3月	委員論説	「良いものを作ろう」という気持ち ～品質の確保と向上につなげて～	橋本有美子
第191回(1)	2023年4月	委員論説	都市における賢い雨水管理へ	古米 弘明
第191回(2)	2023年4月	委員論説	人口減少時代の水道とフューチャーデザイン	浅見 真理
第192回(1)	2023年5月	依頼論説	メンテナンス技術の価値に適切な評価を	水口 和之
第192回(2)	2023年5月	委員論説	賃上げをするために	池田 薫
第193回(1)	2023年6月	依頼論説	地質リスクマネジメントと地質・地盤技術者の役割	田中 誠
第193回(2)	2023年6月	委員論説	カーボンニュートラル社会の実現に向けたコンクリート工学の挑戦	石田 哲也
第194回(1)	2023年7月	委員論説	地域のインフラメンテナンスは産学官民の総力戦で	岩城 一郎
第194回(2)	2023年7月	委員論説	河川堤防の構造物周りの強靱化に期待する	上村 俊英
第195回(1)	2023年8月	委員論説	カーボンニュートラルの加速と生物多様性の保全	中山 恵介
第195回(2)	2023年8月	委員論説	伝わるために大切なこと	橋本有美子
第196回(1)	2023年9月	委員論説	大学教員が「橋の日」に感じたこと	穴見 健吾
第196回(2)	2023年9月	委員論説	複雑な問題の解決のために「総合的な力を発揮できる人と組織」をつくる	石井 一英
第197回(1)	2023年10月	依頼論説	進化する下水道	岡久 宏史
第197回(2)	2023年10月	委員論説	カーボンニュートラルに向けて鉄道の果たす役割と施策	今井 政人
第198回(1)	2023年11月	委員論説	インフラ建設DXに想うこと	井上 昭生
第198回(2)	2023年11月	委員論説	杉本昌隆八段の指導法	木村 嘉富

第199回(1)	2023年12月	依頼論説	学生は主体性がないのではなく、知らないだけだー学生小委員会設立から1年を振り返ってー	水谷昂太郎
第199回(2)	2023年12月	委員論説	自然環境と再生可能エネルギー	楠見 晴重
第200回(1)	2024年1月	委員論説	技術者・研究者の研鑽の場としての土木学会	下村 匠
第200回(2)	2024年1月	委員論説	河川維持管理の高度化に向けて	田村 秀夫
第201回(1)	2024年2月	委員論説	フェーズフリーの発想	土橋 浩
第201回(2)	2024年2月	依頼論説	ノルウェー、透明な世界から日本の未来を考える	屋井 鉄雄
第202回(1)	2024年3月	委員論説	ポルトランドセメントの200年とこれから	小林 孝一
第202回(2)	2024年3月	依頼論説	科学映像と土木	久米川正好
第203回(1)	2024年4月	依頼論説	スマートインフラマネジメントで未来を拓こう！	久田 真
第203回(2)	2024年4月	依頼論説	働く女性の健康支援にかかわる要因	吉田 穂波
第204回(1)	2024年5月	依頼論説	社会インフラとしての「スマートエネルギーマネジメントシステム」の構築に向けて	浅野 浩志
第204回(2)	2024年5月	依頼論説	土木行政に関わり町長に	塚原 隆昭
第205回(1)	2024年6月	委員論説	土木技術者の努力を学ぶ	穴見 健吾
第206回(1)	2024年7月	委員論説	サーキュラーエコノミーへの道 ～最終処分場の必要性～	石井 一英
第206回(2)	2024年7月	委員論説	建設DXのけん引役となる若手技術者の育成について	井上 昭生
第207回(1)	2024年8月	委員論説	青函トンネルの現状と課題	今井 政人
第207回(2)	2024年8月	依頼論説	総合的、複合的な地方インフラの探求	斉藤 親
第208回(1)	2024年9月	委員論説	突然の「来賓祝辞をお願いします」	木村 嘉富
第208回(2)	2024年9月	委員論説	危機的状況下にある博士課程人材の育成	楠見 晴重
第209回(1)	2024年10月	依頼論説	国際港湾協会（IAPH）の創立者 松本学の気概に学ぶ	篠原 正治
第209回(2)	2024年10月	委員論説	学生と土木遺産を訪ねる	下村 匠
第210回(1)	2024年11月	委員論説	スマートインフラネットワーク	土橋 浩
第210回(2)	2024年11月	委員論説	危機管理、災害対応力の向上に向けて	田村 秀夫
第211回(1)	2024年12月	依頼論説	ライフスタイル創造に繋がる土木デザインへ	山田 雄一